

# 大阪府も「現場従事技能者評価型」導入を

## 建団連が発注取組みで要請書

竹内副知事④に要請書を手渡しす北浦会長



大阪府建団連（北浦年一会長）は、大阪府に対し、現場従事技能者を評価する工事発注の取組みに関しての要請を行い、二十八日に北浦会長が府庁を訪れ、竹内廣行副知事に要請書を手渡した。要請は建設産業専門団体近畿地区連合会との連名で行われた。

要請は、技能労働者に対する社会保険加入をはじめとする処遇改善に関し、優秀な現場技能者の評価を高めるため、近畿地方整備局が総合評価方式での「現場従事技能者評価型」を、平成三十年

度から試行導入されることから、大阪府発注工事においても同様に技能者を評価するための措置を求めたもの。

北浦会長は、担い手確保に向けた大阪府の積極的な取組みに謝辞を述べた上で、大阪府域における職人の社会保険加入に

関し、「他府県に比べて厳しい状況であり、今は保険加入を進める正直者が損をしている。そのようなか、今回の近畿地方整備局の新たな取組みは保険加入の促進を強く後押しするものと期待して

## 優れた職人育て信頼の工事

おり、是非、大阪府も国と一体となり職人の処遇改善につながる総合評価の検討を進めていただき」と要請。

また、現在、誘致活動が行われている万博やIR関連のインフラ整備に向け、「品質や生産性、そして安全面からも優れた職人を確保しなければならぬ。職人を雇用し、資格取得を進める業者に優先発注することが何より大事だ」と理解を求めた。

技能労働者の評価について近畿地整では、これまで施工能力評価型の「企業の施工能力」評価項目において、登録基幹技能者や建設マスター、現代の名工等の資格者を、現場従事技能者として配置した場合と、コンクリート構造物品質コンテスト技能者表彰と合わせて最大三点が加点される。

導入の目的は、品質の向上確保が狙いだが、評価を上げること、技能労働者の資格保有者の増加を促し、新たな技能労働者が増えることにも期待をしている。対象工事は概ね三億円以下の工事とし、三十年度は各府県で一〜二件程度で実施を予定している。

現場従事技能者評価型では、現場従事技能者の配置で最大一六点、コンクリート構造物品質コンテスト技能者表彰四点